

宇陀市（奈良県宇陀市）

R4補正
R5当初

84

背景・課題

宇陀市には、農業法人グループや企業出資法人などを中心に、県全体の有機JAS認証農家数の45%が存在しており、特に伊那佐東部地区では、奈良県が進める「特定農業振興ゾーン」制度を活用した軟弱野菜主体の有機農業産地づくりに取り組んでいる。

成果目標

「特定農業振興ゾーン」を核として有機農業の生産・流通の改善を図る。取組を進めることにより、有機農業の生産・消費拡大を加速化し、中山間地域における有機農業の先進拠点を創出する。

目標 有機農業面積（R3→R6）：21.2ha→21.7ha（+2.4%）

有機農産物の販売量増加（R3→R6）：275.2t→283.5t（+3.0%）

有機農業者数（R3→R6）：15人→18人（+20.0%）

取組の内容

調達

市内畜産農家と連携して自家製堆肥の使いやすい形態を検討し、流通・栽培を実施。

生産

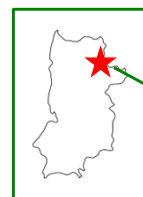
電場冷蔵庫（電場によりチルド状態を保持）の利用による収穫物の長期鮮度保持を検討し、出荷ロスを削減する。

流通

規格外品を利用したペーストの2次加工品開発等による有効活用促進、学校給食への活用を実施。

消費

販路拡大のため、市内マルシェやフードフェスへの出展を支援。PRホームページの拡充や直売所への有機農産物コーナーの設置及びシンボルマークの運用に取り組む。



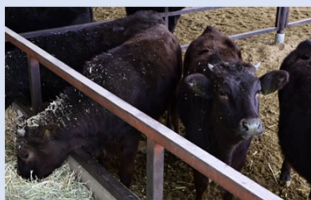
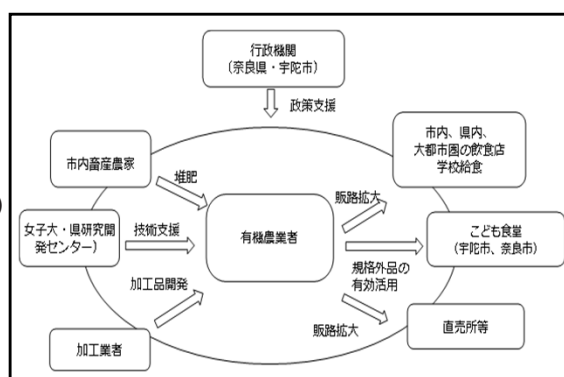
宇陀市

構成員

宇陀市

品目

野菜、水稻



市内畜産堆肥の流通試験



電場冷蔵庫を活用した鮮度保持試験



加工品開発や学校給食への活用



H Pの活用や展示会への出展

普及に向けた取組

地域の有機農業者の課題であるフードロス対策や販路に関する取組をこれまで行って来た。令和5年度は学校給食への提供やアンケートの実施、そして市内の畜産堆肥の流通試験を通して地域と有機農業の距離を近づけつつある。今後は担い手の対策、学校給食などの食育を強化することで、引き続き、有機農業産地づくりを核とした地域にあった持続可能な農業の定着・拡大に取り組む。

問い合わせ先

宇陀市農林商工部農林課 TEL：0745-82-3679